

|       |                  |
|-------|------------------|
| 校番 1  | 福山市立鞆の浦学園        |
| 最終更新日 | 2025年(令和7年)2月10日 |

2025年度(令和7年度)学校評価自己評価表

|       |       |   |
|-------|-------|---|
| I 福山市 | ミッション | 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。   |
|       | ビジョン  | 各中学校区・学校が、資質・能力の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。 |

II 自校

|   |
|---|
| 前年度学校運営協議会の主な内容   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>学校が進めている取組内容については、概ね肯定的評価をいただいた。</li> <li>開校6年目も、児童生徒の成長のため義務教育学校ならではの取組を積極的に進めていくことを期待される。</li> </ul> |
| ミッション   |
| 義務教育9年間の一貫した教育を推進し、将来の日本やふるさと福山を支え貢献する人材を育成する。  |
| 学校教育目標  |
| 郷土福山を愛し、心身ともにたくましく意欲を持って主体的に学ぶ子どもの育成<br>～ふるさととの自然、人、歴史、伝統、文化に触れながら、学びをつなぎ深める～   |

|  |
|--|
| 現 状  |
| <p>&lt;児童生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふるさが好きである」児童生徒の割合 95.9%</li> <li>「自分の考えは認められている」82.5%</li> <li>福山ブランド「鞆学」を中心に、子ども達は意欲的に学びながら自分達のやっていることを積極的に発信する姿が多く見られた。多くの児童生徒の考えを全体に共有し、認め合いながら成長を支えていく。</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学級は安心して学べる場である」86.4%</li> <li>「学校での学びはよく分かる」90.5% 「考えることは面白い」85.7%</li> <li>「探究することが大好き」92.5%</li> <li>「鞆学」を中心とした学習を外部に発信したり、校内で交流したりしていくことで、探究学習への意欲を高めることができた。</li> <li>「幸せの道」について、学園会や学級・委員会で考える時間を積極的に確保することで、これまで以上に安心して学ぶことのできる学園になってきている。</li> </ul> |

|              |  |   |
|--------------|--|---|
| 育成する力<br>質・勲 | ① 課題発見・解決能力 ② 情報活用能力 ③ コミュニケーション能力 ④ 郷土愛 |   |
| めざす<br>子ども像  | ①  | <ul style="list-style-type: none"> <li>物事を多面的に見たり、これまでの経験や知識を活用したりする中で、新たな課題を発見することができる。</li> <li>多様な他者と協働したり、よりよい解決方法を選択したりすることで目的に応じた納得解を導き出したり実行したりすることができる。</li> </ul>  |
|              | ②  | <ul style="list-style-type: none"> <li>適切かつ効果的な情報を収集できる。</li> <li>収集した情報を分類・整理・比較・関連付けて、目的や意図に応じて適切かつ効果的にまとめることができる。</li> <li>多様な他者を相手とし、情報と関連付けてより効果的な方法で発信できる。</li> </ul> |
|              | ③  | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な他者と互いに考えを認め合いながら、協働することができる。</li> <li>多様な他者と協働することで新たな考えを創造し、適切かつ効果的な解を導き出すことができる。</li> </ul>                                     |
|              | ④  | <ul style="list-style-type: none"> <li>鞆のよさや課題を理解した上で、解決策を考えることができる。</li> <li>世界的な視野で、鞆のよりよい町づくりに貢献できる。</li> </ul>  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 研究<br>主題<br>内容等 | <p>「教科・学年の枠を超えた9年間の一体的な教育内容と教育体制の確立」<br/>～「探究」の世界にどっぴりつかる！つなげる！発信する！～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適な学びと共同的な学びを推進し、学ぶ意欲が高まる授業を探究する</li> <li>「鞆学」「自立・生単」を軸に、子どもの学びと体験がにつながる授業を探究する</li> </ul> <p>学びの土台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と家庭の学習・生活を繋ぎ、全ての活動に根付く主体性と責任感</li> <li>学園会作成の「幸せの道」を踏まえ、安心して学べる共感・支持的文化</li> </ul> |
| めざす授業の姿         | <ul style="list-style-type: none"> <li>「なぜ?」「わからん、教えて!」「やった、わかった、できた!」「もっとやりたい!」などの声がする授業</li> <li>一人一人が自らの目標を設定し、共に考え、話し合い、学び合い、自信を育てる授業</li> </ul>   |

Ⅲ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立鞆の浦学園

| 年目 | 中期経営目標                           | 重点 | 分類 | 短期経営目標                                    | 目標達成に向けた取組   | 評価指標   | 中間評価(10月1日)  |            |          |  | 最終評価(2月末)   |            |          |          |  |
|----|----------------------------------|----|----|---|--|--|--|------------|----------|--|---|------------|----------|----------|--|
|    |                                  |    |    |   |  |  | □指標に係る取組状況   | 力を入<br>る評価 | 達成<br>評価 | 改善方策   | □指標に係る取組状況<br>◎短期(中期)経営<br>目標の達成状況  | 力を入<br>る評価 | 達成<br>評価 | 総合<br>評価 | 改善方策   |
| 3  | 夢と志を育み、可能性に挑戦するための意欲と学び続ける力を付ける。 | ★  | 継続 | 児童生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、一人一人が自らの伸びや成長を実感できる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テストや単元テストで学びの定着状況を把握し、学力向上取組シート、体力向上計画の取組内容を定期的に検証・発信する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒アンケート「学びは楽しい」「体を動かすことは楽しい」の肯定的評価85%以上</li> <li>実力テストで40%未満の生徒、単元テストで70%未満の児童の割合を減少</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の実態把握と学力分析を行い、実践や研修を通して、授業の交流・共有した。</li> <li>アンケート「学びは面白い」82.3%<br/>「体を動かすことが楽しい」94%</li> <li>テスト実力テスト40%未満生徒…34.9%<br/>単元テスト70%未満児童…11.7%</li> </ul> | 3          | 3        | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の学びやつまずき等を把握し、ユニバーサルデザインの考えを生かした授業改善に取り組む。</li> <li>学校全体で授業改善を図りAPDCAサイクルを確立し学力向上の取組を推進、共有・交流していく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒のつまずきを予想から手立てや支援を工夫し個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業改善に取り組み、学びの目的と意欲を高めた。</li> <li>アンケート「学びは面白い」82.3%<br/>「体を動かすことが楽しい」94%</li> <li>テスト実力テスト40%未満生徒…6.3%<br/>単元テスト70%未満児童…12.6%</li> </ul> | 4          | 4        | 4        | <ul style="list-style-type: none"> <li>学園全体で児童生徒一人一人の実態把握を丁寧に見取り、学ぶ目的と意欲を高める確かな見通しをもち、児童生徒と教職員とともに鞆の浦学園学びのスタイルを構築・定着を目指す授業づくりを実践していく。</li> </ul> |

|   |  |   |    |   |  |  |   |   |   |  |   |   |   |   |  |
|---|--|---|----|---|--|--|---|---|---|--|---|---|---|---|--|
| 3 | 「ふるさと鞆・福山」への愛着と誇りを育み、より良い町づくりに貢献できる。   | ★ | 継続 | より良い町づくりを、SDGsとキャリア教育を関連付け考えて、活動を選び行動できる。(自己選択・決定)                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとをテーマに課題発見・解決学習を進め、取組や学びを積極的に発信する。</li> <li>・一人学びと協働学びの質を高められるように地域とつながる機会を設定する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒アンケート「ふるさと大好き」の肯定的評価85%以上</li> <li>・児童生徒アンケート「鞆学」では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」の肯定的評価85%以上</li> </ul> | <p>地域の一員として「鞆学」を中心に、より良い町づくりを進めることができた。</p> <p>「ふるさと大好き」99.1%</p> <p>子ども達の自己選択・自己決定を大切に探究することができた。89.2%</p> | 4 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の課題設定がよくなり、探究の質が高まるように、校内研修を実施して価値づけの方法など手立てを探す。</li> </ul>                              | <p>□「探究とは何か」をテーマにしたガイダンスを行ったり、好きを大切に活動を進めるために自己分析を行ったりした。</p> <p>「ふるさと大好き」98%</p> <p>「自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」89%</p> | 4 | 4 | 4 | <p>□子どもが身近な疑問や課題からテーマを設定し解決していく学びを推進する。</p>  |
| 3 | 「学校における働き方改革取組方針」を踏まえ、子ども達と共に自ら挑戦し続ける。 | ★ | 継続 | 個別最適な学びと共同的な学びを推進することや個人テーマを設定するなどし、自らの強みを活かすことに取り組みながら、年間を計画的に業務遂行する力を付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びが面白い」の深化をめざし、取組の質を高める具体策を実践交流・発信する。</li> <li>・定時退校日の推進と業務内容の改善を進め、見通しが持てる業務管理を進める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人一人がやりがい感を持ち自らの成長記録を手に入れている。</li> <li>・全職員が、時間外勤務1ヶ月45時間以内、年間360時間以内</li> </ul>  | <p>□個別最適・協働的な学びの考え方をベースとして、よりよい授業づくりを行った。</p> <p>主任主事を中心に計画的に校務を遂行し、45時間以内の職員は、92%であった。</p>                 | 4 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通して得た学びを交流・発信し、全体の学びとして充実させていく。</li> <li>・計画的に校務を遂行できるよう校務を可視化し全職員が確認できるようにする。</li> </ul> | <p>□研究授業を行い互いの授業を見合うことで、目指す授業づくりの方向性を共有することができた。</p> <p>業務を可視化することで、一人一人が計画的に校務を遂行できている。45時間以内の職員は96%。</p>                                  | 4 | 4 | 4 | <p>□全教職員が目指す授業づくりの視点を取り入れて授業を行い、積み上げていく。</p> <p>□部で決定した取組を主任主事を中心に年間計画表に記入して可視化し全体で共有する。</p> |

[プロセス評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準   |
|----|--|
| 5  | 取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。   |
| 4  | 取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。       |
| 3  | 取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。 |
| 2  | 取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。  |
| 1  | 取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。      |

[達成評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準                   |
|----|------------------------|
| 5  | 目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。   |
| 4  | 目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。   |
| 3  | 目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。  |
| 2  | 目標を下回り、成果よりも課題が多かった。   |
| 1  | 目標を大きく下回り、成果が認められなかった。 |

[総合評価の評価基準]

| 評点 | 評価基準            |                 |
|----|-----------------|-----------------|
| 5  | 100%以上の達成度      | 十分に目標を達成できた。    |
| 4  | 80%以上100%未満の達成度 | 概ね目標を達成できた。     |
| 3  | 60%以上80%未満の達成度  | ある程度目標を達成できた。   |
| 2  | 40%以上60%未満の達成度  | あまり目標を達成できなかった。 |
| 1  | 40%未満の達成度       | 目標を達成できなかった。    |